

平成 27 年 3 月 16 日

3 月の木材価格・需給動向

1. 国産材(北関東)

栃木の丸太生産は順調だが、このところの降雨で悪路となり、材の搬出に若干の影響。入荷量は平年並。好調だったスギ柱材は通常の引合いに戻り、中目材は当用買いの様相が強く、目粗材に応札なしが見られた。ヒノキは生産調整されている中で全体に引合いは弱い。価格は製品の需要不振が続く中で、堅調に推移していたスギ柱材も含めて全面安の展開。スギ、ヒノキともに柱材が弱保合で、中目材は値下がり弱含み。

群馬の製材工場の操業状況は、3月に入り若干の荷動き感。操業は順調だが製品の先行き不透明で生産調整が必要。製品販売は1月中旬から悪くなり、公共物件の3月完了に伴い、製品市場の多くで荷動き感はない。製品在庫は増加、特にヌキなど羽柄に荷余り感。原木の出材は順調で入荷も多いが、年度末に若干減少。原木在庫は十分な手当が進み、山土場や原木市場、工場でも増加傾向。製品価格は変動少なく安定、一部で安売り感。

2. 米材

米国産輸出向け丸太は、日本・中国ともに引合い低調だが、産地の天候は良好で出材は好調。産地港頭在庫は市況低迷で配船数が減り急増、サプライヤーは仕入れを抑制。ウェアハウザー社の3月積み対日米マツ価格は、2月積比\$30ダウンの\$850(推定)で決着。米材丸太の入・出荷、在庫ともに横這い。国内の大手港湾製材工場は、製品販売が低調で操業はスローダウン。米国西海岸の労使交渉は漸く妥結したが、正常に戻るまでは数か月かかると予想。

米製材品のTLT(東京木材埠頭)2月の入荷量は31.6千 m^3 で前月比11.7%の増、出荷量は28.8千 m^3 で同横這い、在庫量は43.4千 m^3 で同6.8%の増。産地情勢はランダムレングス紙15種平均価格が2月末に\$348とジリ安状態続く。4-6月積DF小角\$440/ m^3 、垂木\$435/ m^3 レベル。SPF 2×4Jグレードは\$500/Mfbmでやや弱含み。2月のプレカットは、各社受注少なく苦戦したため、在庫調整できず荷動きは当用買いが続く。先行き3月末までは仕事がスローでこの状態が続くと予測。国内在庫はまだ高い水準では無いため、北欧材、米材の羽柄材で一部不足感はあるが、仕事量を反映した鈍い動きとなっている。

3. 南洋材

サバは旧正月後の原木出材に期待するが、雨多く回復に時間かかる模様。原木相場は輸出需要が旺盛で、供給が追いつかず依然強含み。製品も原木高で値下げ要素はない。製材工場の減少で製品出荷量もかなり減少。サラワクは旧正月明けと不法伐採取締強化により、原木出材は相当悪い。太材良木は慢性的に不足しており、日本勢の買付は厳しい状態が続く。PNG ソロモンも天候不良で出材が不安定、中国勢の買付は依然旺盛。南洋材丸太は入・出荷、在庫ともに横這い。製材品の入荷も横這い。丸太の販売は合板用、製材用とも変化なし。製材品は集成材、平割、栈木に活発な動きない。

4. 北洋材

ロシアシベリア地方は旧正月後の中国の受注が旺盛で、日本向け原盤を敬遠。ルーブル安の影響でコンテナが集まりにくく、回収容易な中国向けが多くなり、国内でも東京、川崎に集中し、各地方とのフレート差は\$10-13。富山新港の2月の丸太入荷は2.8千 m^3 、原盤入荷は6.3千 m^3 。在庫は丸太3.7ヶ月分。価格動向は、丸太は全体的に弱含み、製材品は一部の現地挽きがやや弱含み、国産製品は市況の悪さにより極めて弱い状況。荷動きは現地挽き製品が東京、川崎で対前年9.0%増。国産製品は、現地挽きの影響で低調だが3m材の需要は大。国内の北洋材製材工場は在庫のバランス悪く不採算。稼動状況は丸太が減少し、生産調整続く。受注状況はリフォーム含めて住宅着工が減少し全般に悪い。

5. 合板

原料丸太のうち国産材価格はカラマツを除き横這い。ロシア材はルーブル安だが横這いで推移。米材は弱含み。南洋材は集材難から高値で張り付いたまま。1月の国内総生産量22.6万 m^3 のうち針葉樹合板は21.1万 m^3 、出荷量は21.6万 m^3 で出荷量が生産量を上回る。在庫量は21.0万 m^3 と依然高水準が続く。販売価格は、需要環境が変わらない中で、新たに2工場が稼働し、供給過剰の局面は避けられない。このため歯止めのきかない相場となるのか、メーカーもコスト割れが懸念材料で、直近での値下がり避けられないと思われる。

国産針葉樹合板は荷動きが低調で1月下旬からジリ安の展開。需要が乏しく価格を下げてでも数量が大きく動く局面ではなく、流通の売込み競争は激しく、先安感が漂う状況。輸入合板も荷動きは低調で、商社の仕入れコストが上昇している中で、価格は横這いで推移。12mm系には一部警戒感が生じ流通では激しい商い続く。先行き針葉樹合板の値下げは避けられないが、需要が極端に悪い中で底を判断するのは難しく、警戒感は続きそう。輸入合板の現地高は不変で、

今の展開が続くことはないが、3月決算に向けた瞬間的な安値への警戒感がある。針葉樹合板、輸入合板とも在庫は潤沢で、全体的にだぶついている。

6. 構造用集成材

原料ラミナの入港は若干の遅れ。昨年後半は早積が目立ったが、ここにきてコンテナ集荷に苦勞との情報。ラミナ在庫量は各社とも適正量、今後数か月は必要量のみの手当とみられる。国産集成材の3月受注はプレカットの仕事量減少により厳しい。2月の荷動きは順調で品薄感は一服。販売先行きは不需要期で減少する見込み。在庫は適量で納期は1-2週間。価格はRW梁桁、柱に値上げの一服感。プレカット工場の仕事減少が影響し不安感から値上げ止まる。原料高を背景にメーカーは値下げできない状況だが、一部では値下げ製品も出始める。輸入集成材は、シュバイのRW梁桁のJAS取得が遅れ、入船は5月ごろの予定。間柱の輸入価格は3-4月積で€20-25 高い€315が提示されており、今後1-2千円/m³高くなる見込み。

7. 市売問屋

国産材の構造材は、新築需要が不振のためスギ、ヒノキの動きは極めて悪い。特にヒノキは丸太価格が下落し動きは鈍い。造作材は小規模な増改築が続く、スギ、ヒノキともに動き良い。建具用はここにきて動き止まる。外材の構造材は、国産材同様動き悪い。造作材は米ヒバ、スプルース、ピーラーの建築用桁平割はまずまず。販売動向は、買方の手持仕事量少なく、記念市の来客も減少し必要当用買い。春需本番を迎え、買方が意欲を増す時期だが、今年はその気配なし。

8. 小売

国産材の構造材はスギ、ヒノキ土台・柱とも保合。外材はロシアアカマツ垂木保合、米ツガKD角、平割保合、SPF保合、WW間柱保合。造作材はスプルース良材、ナラ、タモ保合。集成材はWW、RW梁、柱とも保合。合板は針葉樹合板弱保合、ラワン合板、輸入合板は保合。床板・フロアの低価格品強保合。工務店は見積もり多いがリフォーム中心。

3月の需給・価格動向

1. 主要外材入出荷在庫量

		入荷量	出荷量	在庫量
米材	丸太	→	→	→
	製材品	→	→	→
北洋材	丸太	↗	↗	↗
南洋材	丸太	↘	→	↘
	製材品	↘		

矢印の表示は今月に対する翌月の動向を、下記のように示したものである。

↑ 急増・急上昇
 ↗ 増加・上昇
 → 横ばい
 ↘ 減少・低下
 ↓ 急減・急落

2. 合板供給量

国内製造量	輸 入 量		
	計	インドネシア	マレーシア
↘	↗	→	↗

3. 価格動向

樹材種	形状	取引条件	樹種・寸法等	動向
国産材	丸太	卸売価格 (北関東、県内産 市場土場渡し)	スギ柱材(3m)2等	→
			スギ中丸太(3.65m)2等	→
			ヒノキ柱材(3m)2等	→
			ヒノキ中丸太(4m)2等	→
	製材品 (関東近県産 板は東北産)	首都圏・市売り 価格	スギ柱角 10.5×10.5×3m 特等	→
			スギ柱角 12.0×12.0×3m 特等	→
			スギ柱(KD) 12.0×12.0×3m 特等	→
			スギ加工板 1.3×18.0×3.65m 特等	→
			スギ間柱 10.5×3.0×3m 特等	→
		スギタルキ3.0×4.0×4m	→	
		ヒノキ柱角(KD) 12.0×12.0×3m 特等	↘	
		ヒノキ土台角 12.0×12.0×4m 特等	↘	
米材	丸太	産地価格	米マツ ISタイプ	→
		国内卸売価格 (京浜・オトラ)	米マツ カスケード(カナダ産)	→
			米マツ ISタイプ コースト	→
	製材品 (カナダ産・ 現地挽き)	東京・問屋店頭 渡し価格	米ツガ桁角(KD) Std&Btr S4S 10.5×10.5×4m	→
			米マツ桁角(GR) Std&Btr S4S 4・1/8” 13’	↗
			米ヒバ土台角(GR) Std&Btr 4・13/16” 13’	→
(国内挽き)		米マツ平角(KD) 特等 10.5×24.0×4m	→	
南洋材	丸太	産地価格	メランティレギュラー	→
		東京・水面筏 渡し価格	メランティレギュラー 60cm上、4m上 製材用	→
	製材品		産地価格	メランティレギュラー 60cm上、4m上 合板用
			東京・問屋店頭 渡し価格	ホワイトセラヤ 平割(サバ州産) 同上2.4cm×込み×4m 定尺1等
北洋材	製材品	国内卸売価格 (東京問屋着値)	エゾマツ(3.0×4.0×3.8m)特等	↘
			アカマツ(3.0×4.0×4m)特等	↘
			カラマツ(10.5×10.5×4m)特等	※
欧州材	製材品 (現地挽き)	東京・問屋店頭 渡し価格	ホワイトウッド 間柱 2.7×10.5×3m S4S FOHC	↗
			ホワイトウッド ラミナ 2.4×11.0×3m上 ラフ乱尺	→
集成材	国産	東京・問屋店頭 渡し価格	ホワイトウッド 無化粧 JAS 5プライ	↘
			スギ 無化粧 JAS 5プライ	→
	欧州産	//	10.5×10.5×2.98m	→
合板	国産	東京・問屋店頭 渡し価格	タイプ2 F☆☆☆☆ 2.3mm厚 3×6	↗
			タイプ2 F☆☆☆☆ 4.0mm厚 3×6	↗
			型枠 12.0mm厚 3×6	→
			針葉樹構造用 12.0mm 3×6 F☆☆☆☆	→